

一般質問

町民の声を代表して 9人が質問

議会には、議員が、町長や教育長に対し、町の仕事の状況や、将来の方針などを質問する一般質問があります。
今回の議会では、9人の議員が、皆さんの声を代表して熱弁を振るいました。

原稿は、質問した議員の責任において作成したものです。

一般質問



美谷 芳昭

今後の行財政運営について

問 今回、決算が発表されたが、21年度町政運営方針や予算から見て、町長としての様な予算執行であったか。

答 町政運営方針でお示しをしたように、ダイオキシンの無害化処理、し尿処理施設の建設、などの政策的課題の解決と、少子化対策、子育て支援、防災基盤施設や生涯学習施設の整備など、各種施策の推進に大きな進捗を図り、概ね満足すべき予算執行であった。

問 21年度から施行された自治体健全化法に基づく指標からみて、本町の財政状況はどのように推移していくと考えられるか。

答 特に、赤字比率等は現在のところ一般・特別全会計が黒字のため、問題は無いが、今後は町税

収入や、地方交付税の減収見込みにより、厳しい状況が見込まれる、今後更なる行財政改革を推進めることにより、早期健全化団体や財政再生団体への転落を回避していきたい。

問 財政調整基金は、し尿処理施設建設、火葬場建設、ダイオキシン対策各年度の財源不足等に充てるとなっているが、各小学校の体育館は地域の避難場所やコミュニティ施設でもあるので、この基金を使って、先行して耐震化工事をすればどうか。

答 学校再編計画の中で先行しての体育館の耐震化は補助金的にも困難が予想される。

問 町長は、来年度の重点施策等、予算編成方針はどの様に策定するのか。

答 来年度は、「大阪のてっぺんプロジェクト」を一つのテーマとして、特に子育て支援や教育関係の向上のための施策を行い、教育や福祉が府内トップレベルの水準になるよう予算を編成したいと考えている。

また、少子・高齢化対策も本町の予算が許す限り行い、夢と希望を持つ町を作っていきたい。

